

St. Luke's International University Repository

マギル大学夏期語学研修報告:学術活動報告 (2002年度)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2007-12-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 園城寺, 康子, 深谷, 計子 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10285/448

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



マギル大学夏期語学研修報告

今年度のマギル大学語学研修は2002年8月2日から23日の3週間にわたり行われた。1年生8名、2年生2名、計10名が参加して、成田からの出発便に遅れが出たが、その後すべて無事終了した。

例年通りのプログラムで、午前中の語学研修と午後から夜にかけてのカルチャー・プログラムだったが、今年度は子供病院見学、カナワキ、オタワ、ナイヤガラ・フォールズの観光の他に、本学のためにはモントリオールの病院博物館見学が組まれた。また、健康管理もよく、全員週末にはホームステイ経験を楽しんだ。英語研修は、今回から他大学と合同でクラス分けされ、2名がレベル変更を申し出て、充実した授業を受けた。アンケートによると、優れた講師に遭遇しモニターにも恵まれ、全般的に満足度は非常に高かった。次第に英語に対する恐怖心がとれリスニング力はついたが、話す方はまだ難しいと多くが述べている。

今年度は4月にマギル大学から井川教授とコーディネーターのC. Lappierre氏が本学を訪問し、学生と質疑応答できた点、事前にカナダ生活に関するパンフレット“Expanding Your World”が配布された点で効果的だった。来年はさらに多く参加者があるように願っている。

(英語担当：園城寺 康子, 深谷 計子)